

映画「CHO-KATSU」

健康にいいだけじゃない、なにより腸活は楽しいということを伝える。

<17-18時ごろ@魚卓の前>

いくつかの買い物袋をもったカツが商店会で夕ご飯の買い物をしている

カツ：すいませーんマグロとイカください

店長：おーカツくん おつかれちゃん

カツ：あー！どうもです！

店長：どう？仕事慣れてきた？

カツ：いやぁ絶賛悩み中です！

店長：あらー大変だね

カツ：元々お腹弱くて

カツ：それが嫌で勉強してたらこの仕事してたんすけど

カツ：役に立ててるんですかねえ、僕

袋詰めしはじめる店長

店長：そっかーまあがんばれ、がんばれ

その時カツの電話がなる（プルルルル）

電話の画面にはあやみちゃんの写真と名前がでる

カツ：店長。すべての悩みふっとぶ電話きました。

店長、小指をたてる

カツ、DAIGOみたいに手を交差して、両方の小指を見せる

電話をとるカツ

カツ：あ、もしもしー

あやみ：カツ、暇なら今日のまない？

カツ：え！どうしたの？

あやみ：私と飲みたくないか？

カツ：のみたいです！

あやみ：んふふーOK待ってるー

大きく息を吐く、そして吸うカツ

カツ：っっしゃああああ店長！それ全部2人分で！！！！

<OP映像へ（5～10秒ほど）> ※いらないかも

カツとあやみがただの友達とか、相関図をこの辺で表したい

<夜@あやみ玄関の中>

あやみ：ごめんね。急に呼び出して。

あやみ：ちょっと誰かと話したい気分です

カツ：ううん、嬉しかった。ごはん作るから、食べながら話そう

あやみ：カツ、やさしいね。

家の中に入って行くカツ

あやみに背中を向けて語る

カツ：好きだから、あやみちゃんは俺のこと友達としか思っていないかもだけどさ

あやみ：嬉しい。その言葉聞きたくて呼んだのかも

抱きしめ合う2人

<夜@あやみ玄関の外>

フェードしてカツの妄想のアホヅラが浮かび上がってくる

カツ：よし、もういきなりストレート戦略だな

沢山の買い物袋と共に

ピンポンを押すカツ

ガチャッと鍵が開く

あやみ：入ってー

カツ：おじゃましまーす

あやみ：ねえカツ！助けて！私、尻がくさいの！

カツ：へ？

あやみ：へがくさいのよお！

<夜@あやみ部屋の中>

机にはすでにからになった空き缶が2缶転がっている

テーブルにはピザとフライドポテトとアメリカンドッグ

目立たないように部屋のすみに買い物袋をおくカツ

あやみ：ごめんね家飲みで。こんな話外でできなくてさ。

あやみ：あ、この辺のやつ食べてね。

カツ：うん

あやみから缶ビールを渡される

あけて乾杯しようとするカツ

あやみ：で、どうやったら治るかな。

カツ：いや、健康な食事して地道に改善していくしかないというか

あやみ：はあー管理栄養士が言うんだから、そりゃそうか。

カツ：まあそりゃ。普通のことだけど、あのかんぱい

あやみ：あーかんぱい！いや実はね

<昼@病院廊下>

病院をカツカツ歩いているあやみ

後ろから石田先生が呼び止める

石田：中川さん、中川さん

あやみ：あ、石田先生！

石田：よかったらこの後お昼ごはんでもいきませんか。

あやみ：え！先生が誰かのご飯行くってめずらしいですね！

プス、プス～というすかし音がする

石田：ちょっと診ていた患者さんが…うわ…あれ

あやみ：患者さんが？

通りすぎてく患者も怪訝な顔をしている

あやみ、手のボードをおしりのあたりでパタパタする

石田：すー（息を吐く）

石田：ごめんなさい、なんか食欲なくなっちゃって、また改めます

石田、不思議そうな顔と怪訝な顔をして去っていく

あやみは去っていく、石田先生を見る

あやみ、目から涙がこぼれる

<夜@あやみ部屋の中>

机につっぷしているあやみ

あやみ：終わったわ私の恋心

カツ：はーそんなことだろうと思ったよ。

あやみ：え？

カツ：あやみが俺のこと、家に呼ぶなんてさ

カツは買い物袋を手にする

リュックからマイエプロンを取り出す

あやみ：何してんの

カツ：屁が臭い人、放っておけないんだ。

あやみ：助けてくれるの

カツ：そうだよ。そのために管理栄養士になったんだ

カツはエプロンつける

エプロンには”超カツ”と書かれている

あやみ：エプロン、それ ちょう…かつ。

カツ：ちがう。エプロンをつけた俺は ”スーパーカツ”なのだ

キッチンに向かうカツ

マグロを切り始める

あやみ：マグロすき

カツ：そう？よかった。まずはこいつらを、醤油だれにつけこむ。

冷蔵庫に入れるカツ

カツ：そして15分くらいつけこんでる間に…

あやみ：おくらと納豆だ

カツ：このネバネバコンビがいいんだよ

あやみ：どうして？

カツ：腸は食物繊維と乳酸菌とかビフィズス菌の菌類この2つが重要なんだ

カツ：このネバネバコンビは、まず食物繊維が多い。

カツ：これだけでも強いのに、納豆はさらに納豆菌や乳酸菌とか、もっててさ

カツ：おならが臭い原因の悪玉菌の繁殖を抑えてくれるんだ

あやみ：最強じゃん

カツ：そう最強！

あやみ：カツ、私、手伝えることないかな。

カツ：じゃあその袋の中の玄米、チンしといて

あやみ：それだけ？

カツ：チンしたら、フーフーして。炭水化物は冷まして食べるのがいいんだ

あやみ：冷ましちゃうの？

カツ：冷ましている間に1種の食物繊維みたいなものが増えるんだ

カツはきゅうりや玉ねぎを手際よく切っていく

その様子をふーふーしながら、見つめるあやみ（惚れているのではない）

カツ：よし、仕上げだ（ゆずを持った手元のアップ）

引きの絵になると、ものすごく高いところからゆずを絞るカツ

机の上に完成したポキ丼2つ

カツ：カツ特性ポキ丼です

カツ：どうぞ！

あやみ：すごーい。きれー！いただきまーす

うん、うん、といいながら食べていくあやみ

にっこり見つめるカツ

あやみ：なんか全身でおいしいって感じるよ

カツ：そっか。体が求めてたのかもね！

あやみ：うん

カツ：：マグロはヒスチジンっていうアミノ酸が多くてさ、食べ過ぎを防いでくれるのもいいんだ

あやみ：へー（あまり聞いてない、食べるのに夢中になっている）

カツ：俺も食べよ

あやみ：ふー食べたねー

あやみ：これでもう、おなら臭くなくなったかな

カツ：そんなにすぐに効果でないよ。続けないと。

あやみ：そうだよ。これでまた石田先生と喋れるようになったらいいな

カツ：・・・

あやみ：ありがとね！今日は！

カツ：俺は、おならくさいの平気だよ。俺が臭くなくしてみせる

あやみ：ダメ…まって

プーとあやみ、おならをしてしまう

あやみ：ご、ごめん。な、なんか食べたら

カツ：大丈夫。少し、懐かしい匂いだよ

カツ、あやみを抱きしめようとする

あやみ：ちょ、ちょっとやめて！

ピンタを5発する。

カツ我に帰る

カツ：ご、ごめん。

カツ：帰る。本当ごめん。

でていくカツを茫然と見送るあやみ

<翌朝@あやみのアパート・外観>

朝のアパート

<翌朝@あやみ部屋の中・トイレの前>

トイレの流れる音

トイレからでてくるあやみ

あやみ：管理栄養士ってすごいなー

チャイムが鳴る

あやみ：だれ？

インターホンにでるあやみ

インターホンに写るカツ

あやみ：カツ…

カツ：おはよう！昨日はそのごめん！

<翌朝@あやみ部屋の外>

カツ：あと、ありがとう。ご飯で人に喜んでもらうの、やっぱり楽しかった

あやみ：うん

カツ：朝ごはん作ってきたから、食べて。ここ置いとく。腸活は続けてね。

カツ：じゃあいくね！また病院で！

<翌朝@あやみ部屋の中>

あやみ、なんとも言えない表情

<翌朝@あやみ部屋の外>

あやみ玄関をあける

下を見ると、朝ごはんがおいてある

腸活サンドとスムージーだ（蓋の代わりにラップがしてある）

<翌朝@あやみ部屋の中>

あやみ座って、いただきますのポーズをとっている

腸活サンドをたべる

あやみ：んーまずい

あやみ：なんかまずいことになってるぞおおおお

あやみ足をじたばたさせ悶える

あやみ：でも、おいしいー！

スムージーをのむ

あやみ：チョウカツ、最高だあああああ！

<翌朝@雄三通り>

カツがニコニコ歩いている

カツ：よおおおし！これから、がんばるぞおおおおお！

～おわり～